

**計画段階評価について
播磨臨海地域道路（第二神明～広畑）
第1回 説明資料**

平成29年3月24日

国土交通省 近畿地方整備局

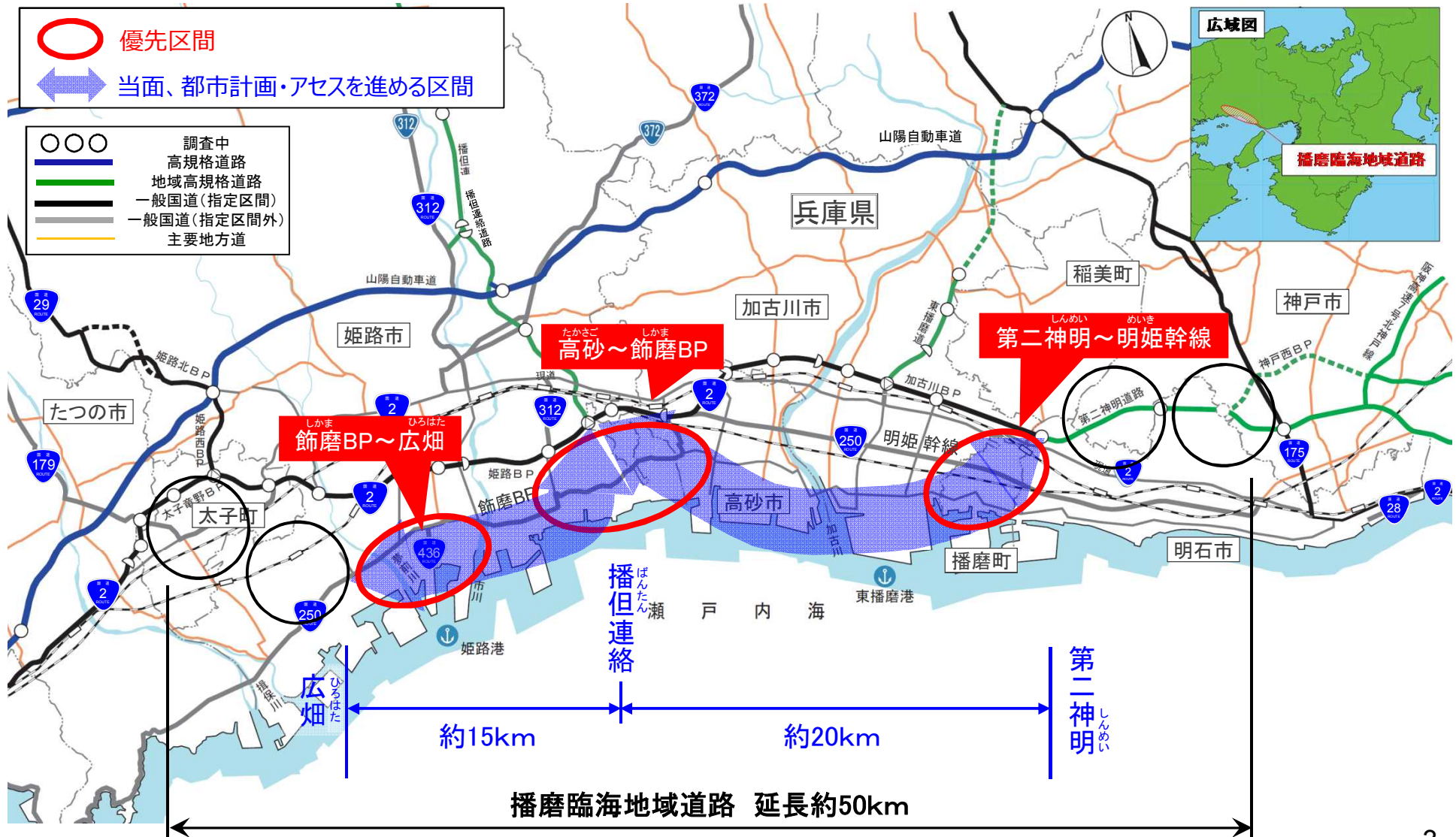
目 次

1. 計画段階評価の検討の流れ
2. 地域の概況
3. 地域や道路交通の現状と課題
4. 政策目標の設定
5. 意見聴取方法

1. 計画段階評価の検討の流れ

1. 検討対象区間

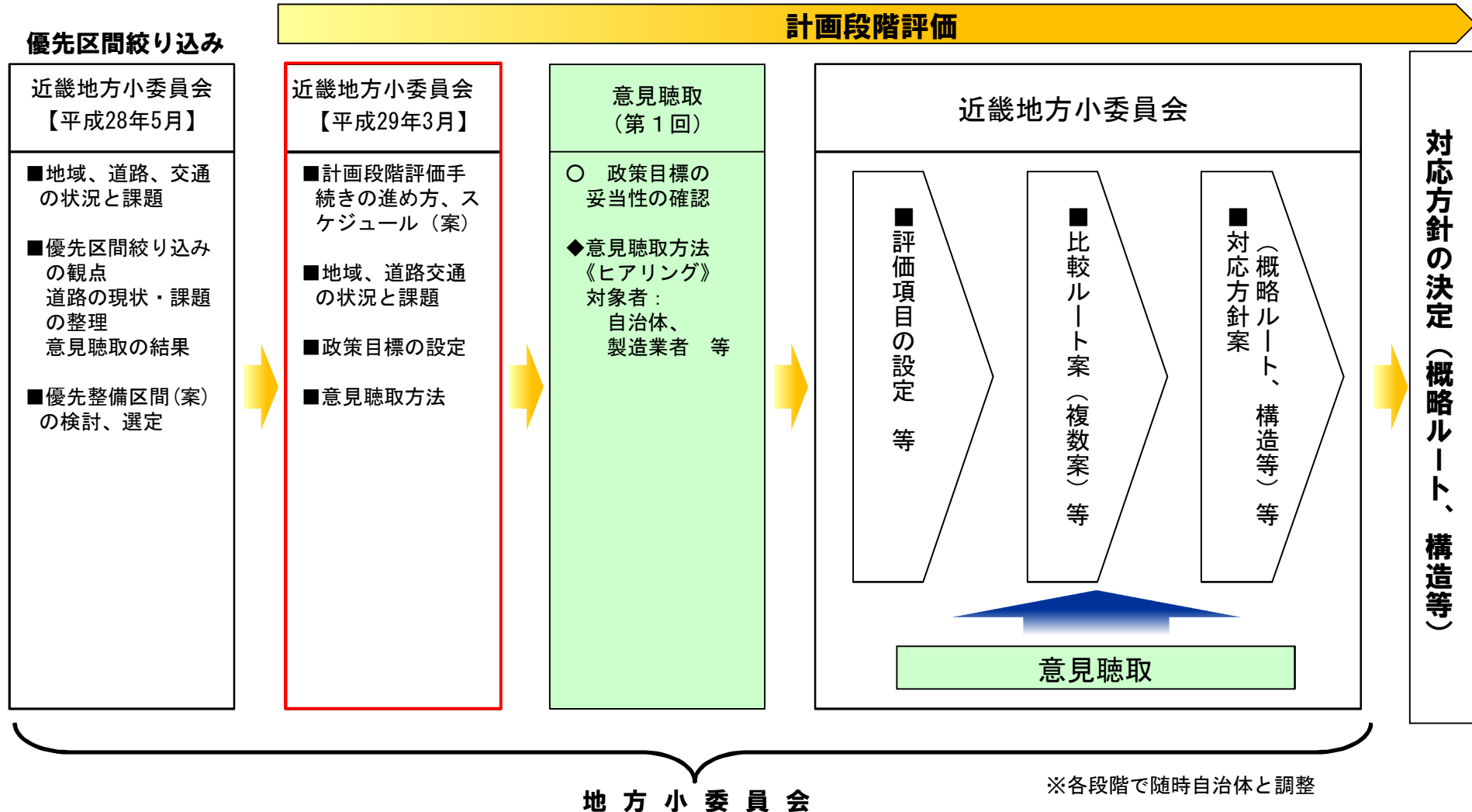
- 近畿地方小委員会にて、地域の渋滞の状況や設定要因を鑑み、優先区間と都計アセス区間を設定。
- 都計アセス区間について、概略ルート・構造の検討（計画段階評価）を行う。



1. 計画段階評価の検討の流れ

■ 計画段階評価手続きの進め方、スケジュール（案）

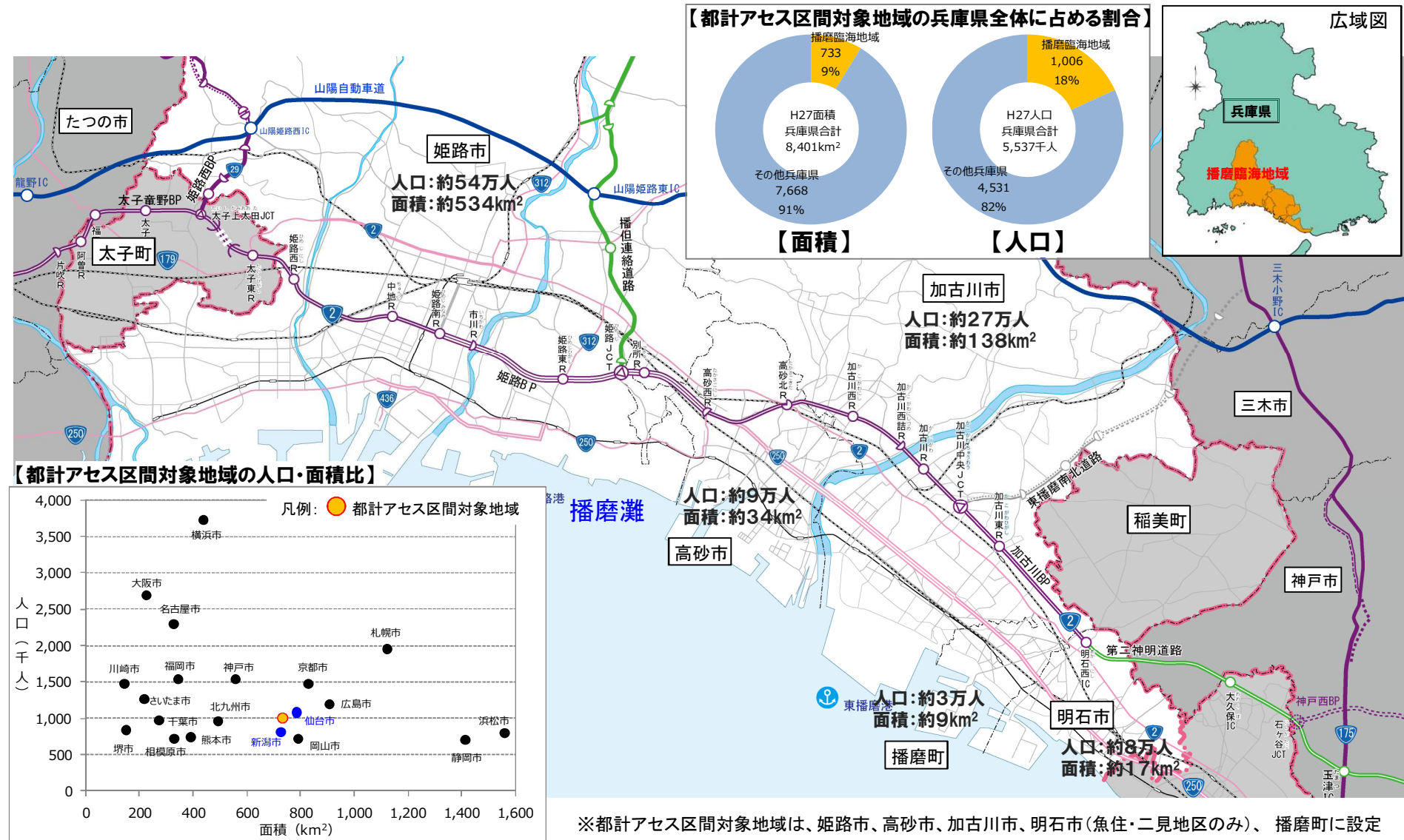
地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。



2. 地域の概況

2. 地域の概況（人口）

- 都計アセス区間対象地域の面積は兵庫県全体約9%であり、人口については約18%
- 都計アセス区間対象地域の人口・面積比は、仙台市や新潟市の政令指定都市と同等規模



出典 人口：平成27年国勢調査
面積：平成27年全国都道府県市区町村別面積調による総面積（明石市魚住・二見地区は平成22年国勢調査結果より）

2. 地域の概況（企業立地）

- 姫路港（国際拠点港湾）や東播磨港（重要港湾）が整備
- 播磨臨海地域の製造品出荷額は国内主要都市よりも多く、世界や国内のトップシェアを持つ企業の製造拠点が集積



2. 地域の概況（観光）

- 播磨臨海地域の観光消費額は、世界遺産姫路城などを中心に、**兵庫県全体の約2割を占める年間1,800億円以上**
- **観光施設への移動の約5割が、自家用車やバスなどの車による移動**

【播磨臨海地域の観光施設】



H23年度入込客数: 611千人



H23年度入込客数: 537千人



H23年度入込客数: 408千人

※図中観光施設は、「平成23年度 兵庫県観光客動態調査報告書」における主要観光施設

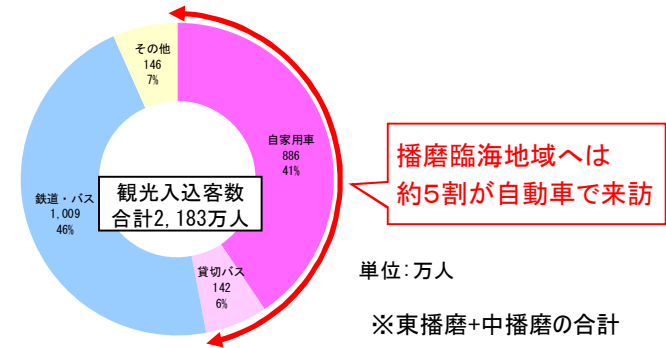
※掲載写真は、下記より転載

姫路城：姫路市HP 姫路フォトバンク
 姫路セントラルパーク：姫路市HP 姫路観光ナビひめのみち
 姫路市立動物園：姫路市HP 姫路フォトバンク

※東播磨地域：明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町

※中播磨地域：姫路市、福崎町、市川町、神河町

【観光入込客数の利用交通内訳(H21年度)】



播磨臨海地域へは約5割が自動車で来訪

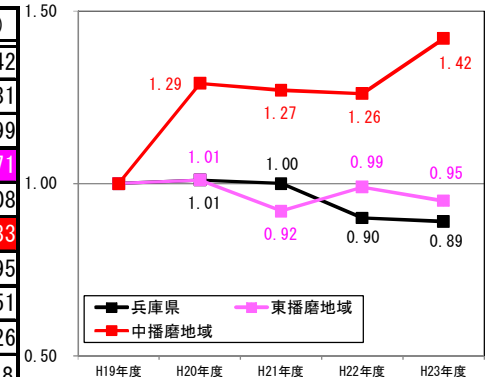
【観光消費額】

兵庫県内の消費額(H23年度)

地域	観光消費額(億円)
神戸地域	2,842
阪神南地域	1,031
阪神北地域	1,199
東播磨地域	671
北播磨地域	908
中播磨地域	1,133
西播磨地域	495
但馬地域	851
丹波地域	326
淡路地域	818
兵庫県合計	10,274

東・中播磨の観光消費額は兵庫県全体の約2割

観光消費額の伸び率



出典: 兵庫県観光客動態調査(兵庫県)

3. 地域や道路交通の現状と課題

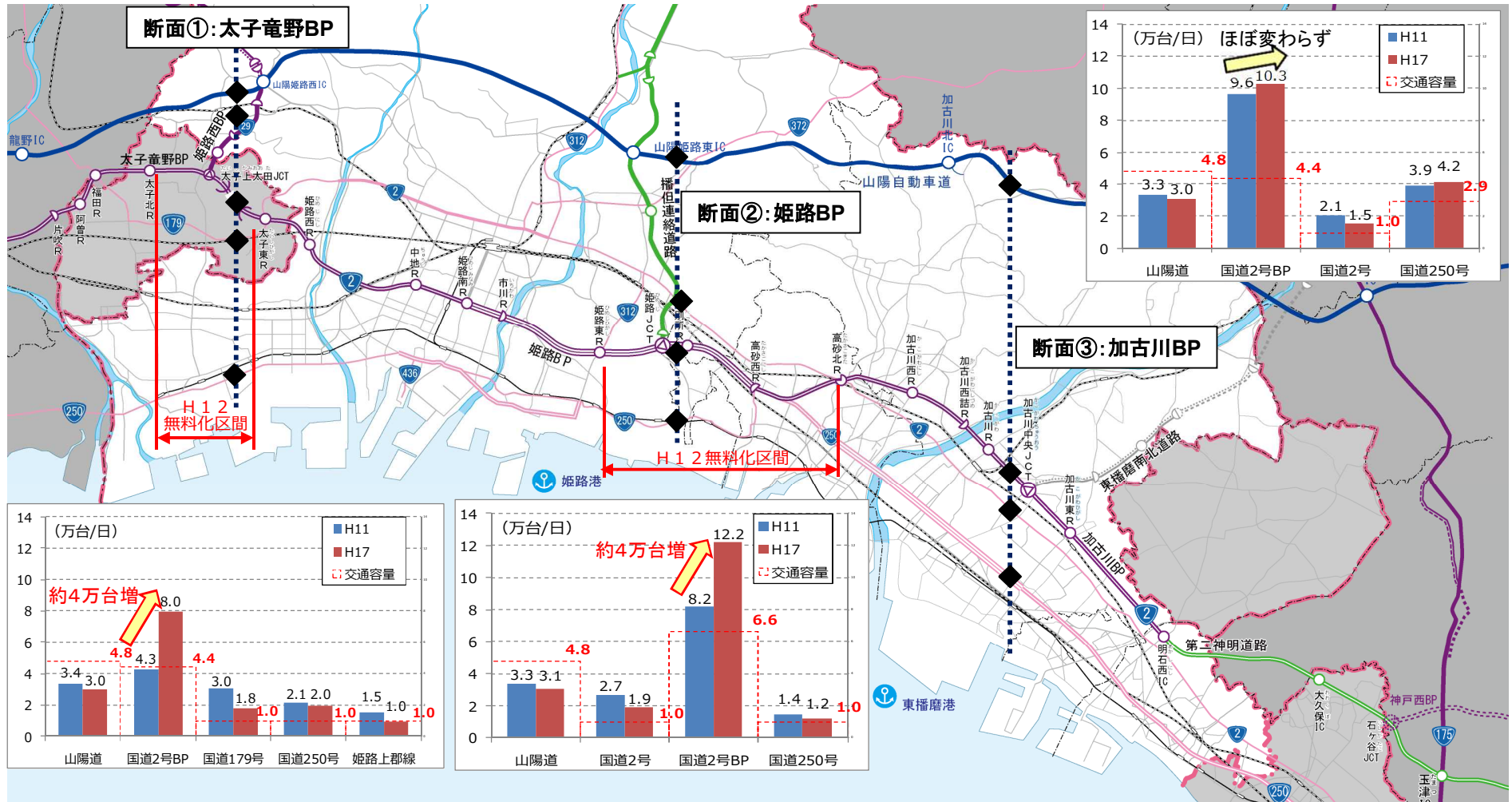
3. 地域や道路交通の現状と課題 (渋滞状況)

- 東西方向の国道2号BPを中心とした幹線道路は、**需要が大きく容量を大幅に超過**しており渋滞が著しく、国道2号BPを利用する交通は、姫路市中心部や加古川市中心部、また臨海部に発生集中が多い
- 国道2号BPや国道250号といった**東西の主要幹線と南北方向の臨海部アクセス道路のランプ、立体下交差点**において特に**渋滞が顕著**
- 国道2号BPへの**アクセス道路は、物流交通と生活交通が混在**するため渋滞



3. 地域や道路交通の現状と課題 (交通転換による渋滞の悪化)

- 国道2号BPの姫路BP、太子竜野BPは平成12年度に無料化された
- その結果、並行する山陽自動車道や国道179号等から国道2号BPへの交通転換が発生し、姫路BP、太子竜野BPともに約4万台/日もの増加となった



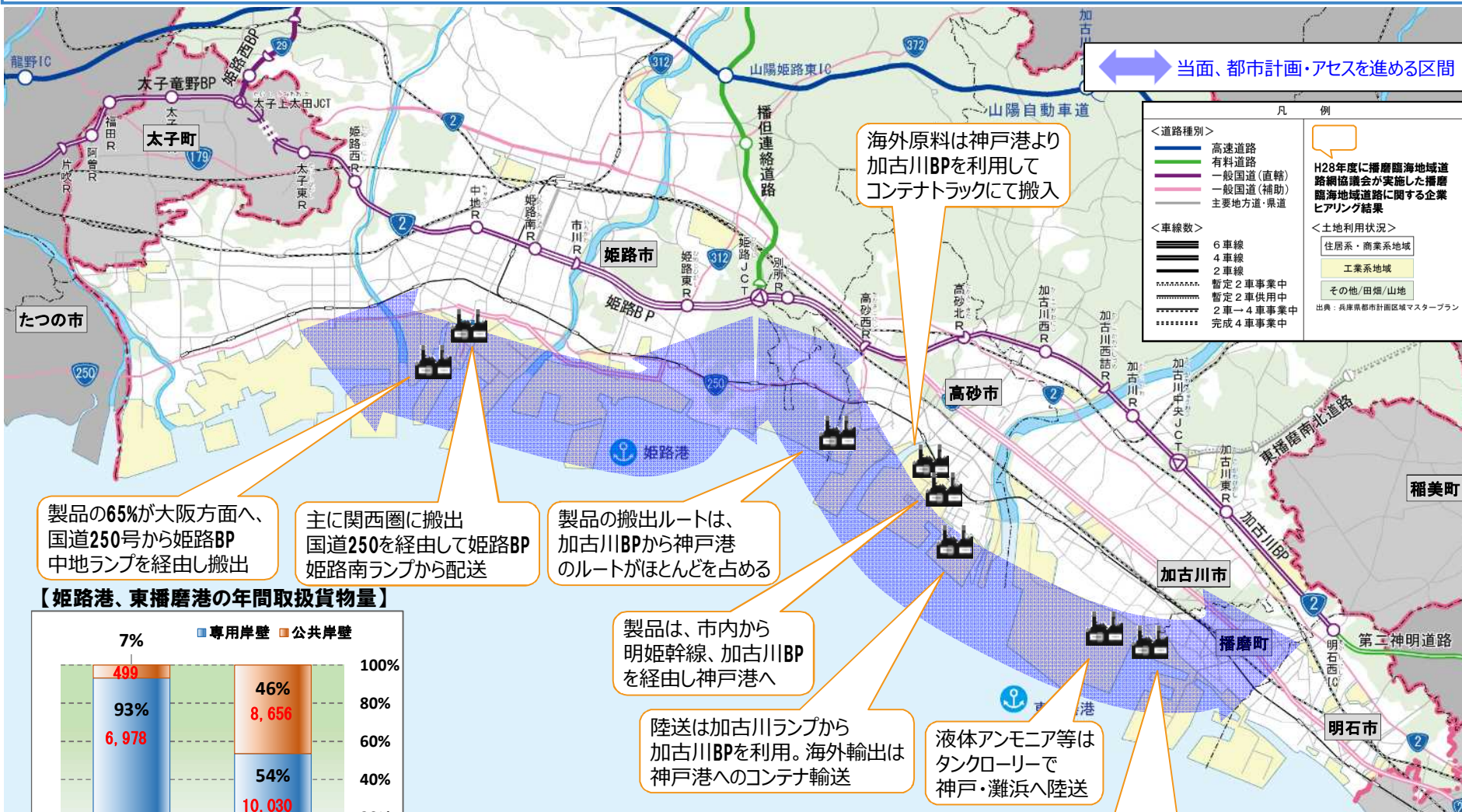
出典: H11年度・H17年度道路交通センサス

※交通容量は、道路構造令における1車線あたりの設計基準交通量を採用

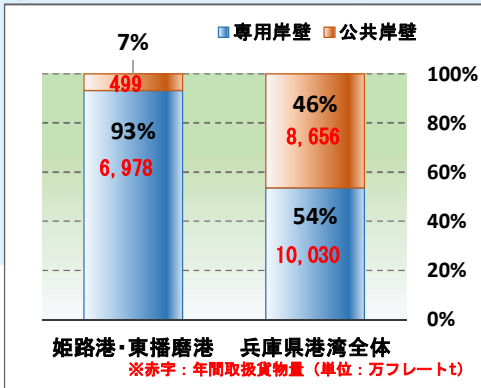
山陽自動車道: 第1種第2級(12,000台)、国道2号BP: 第1種第3級(11,000台) 国道2号・国道250号: 第4種第1級 2車線区間(9,600台)、多車線区間(7,200台)

3. 地域や道路交通の現状と課題 (臨海部の物流)

- 姫路港や東播磨港の取扱貨物の多くは、公共岸壁より臨海部立地企業の専用岸壁で荷卸しされている
- 臨海部の工業地域から播磨臨海地域外への物流は、主に国道2号BPを利用し、神戸・大阪方面への輸送が多い



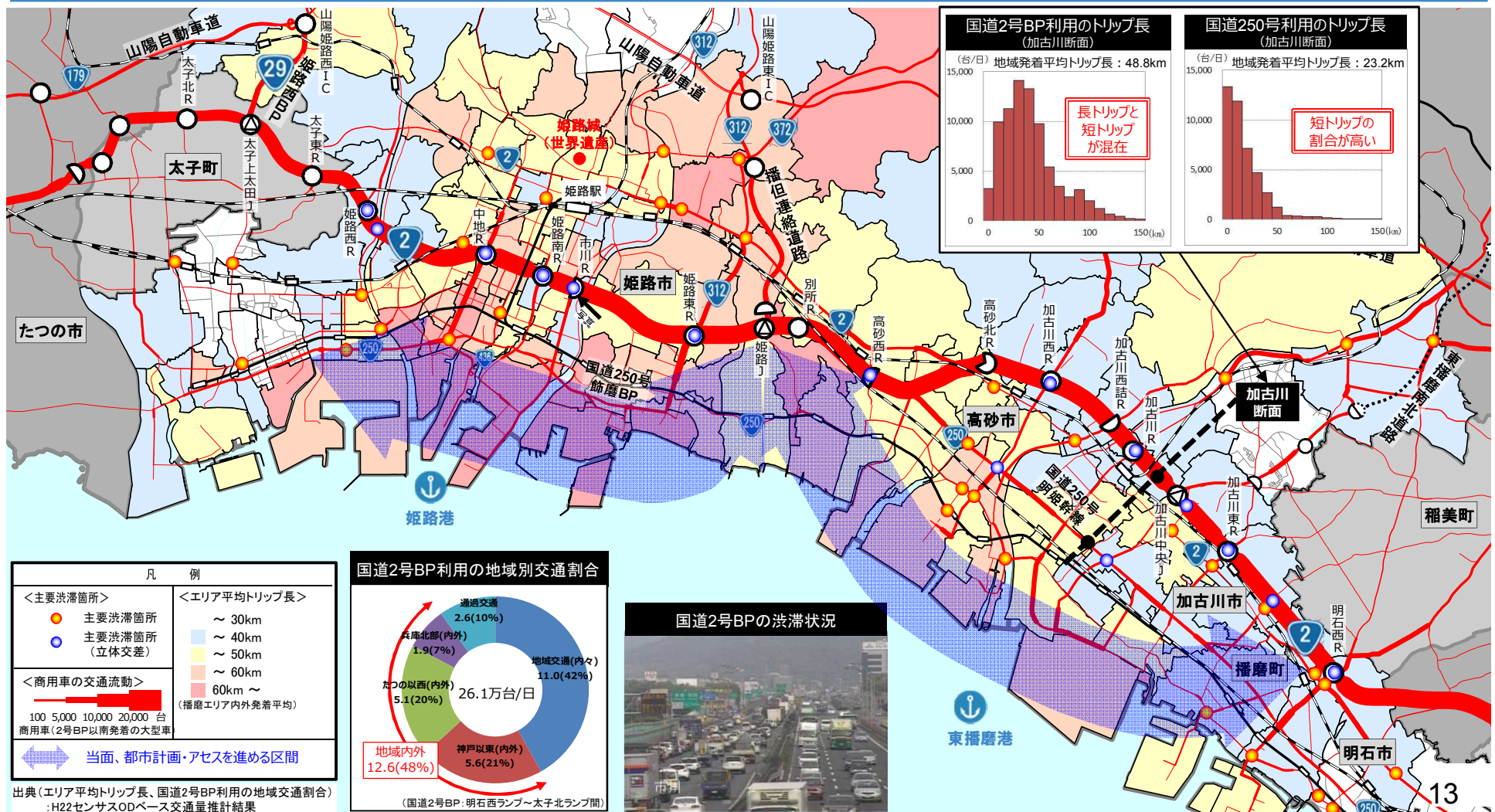
【姫路港、東播磨港の年間取扱貨物量】



出典：兵庫県港湾統計年報(平成27年)

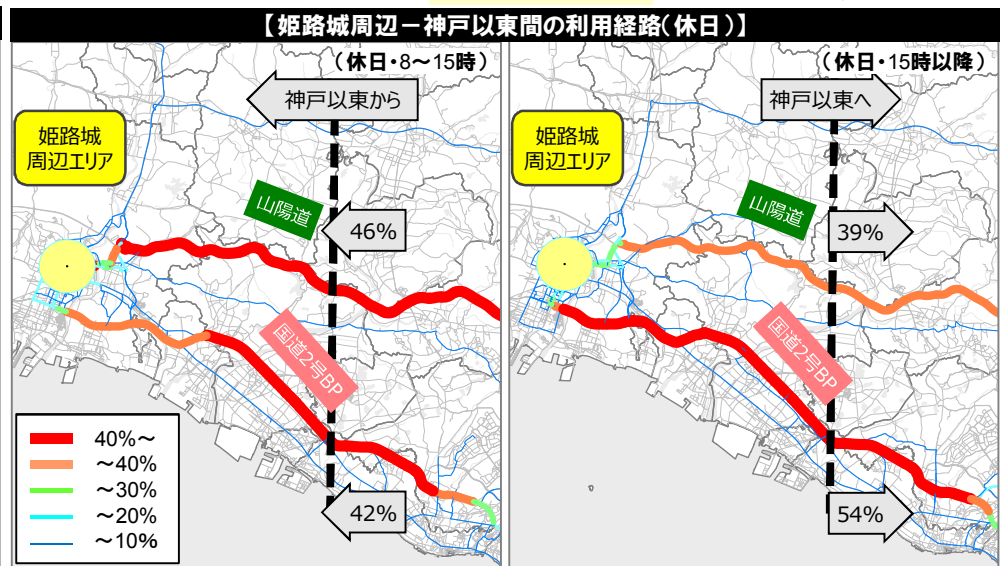
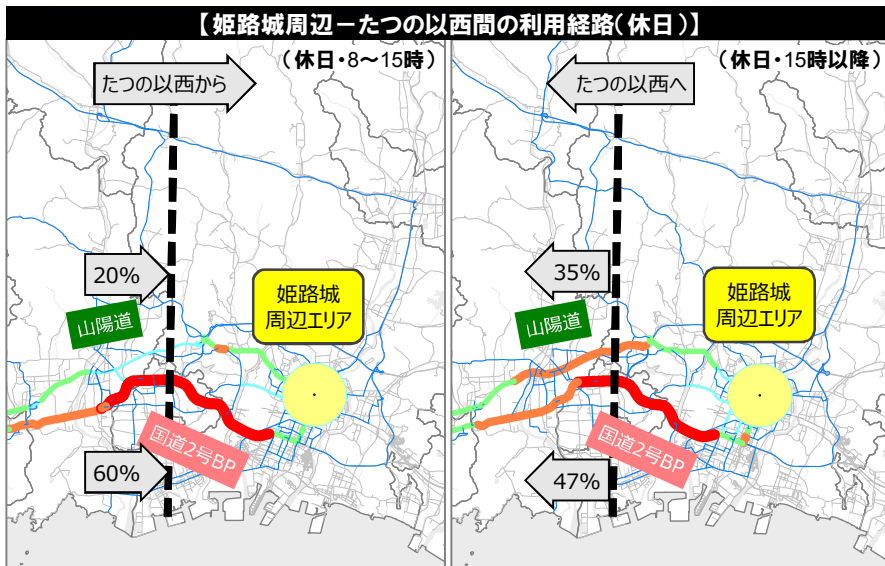
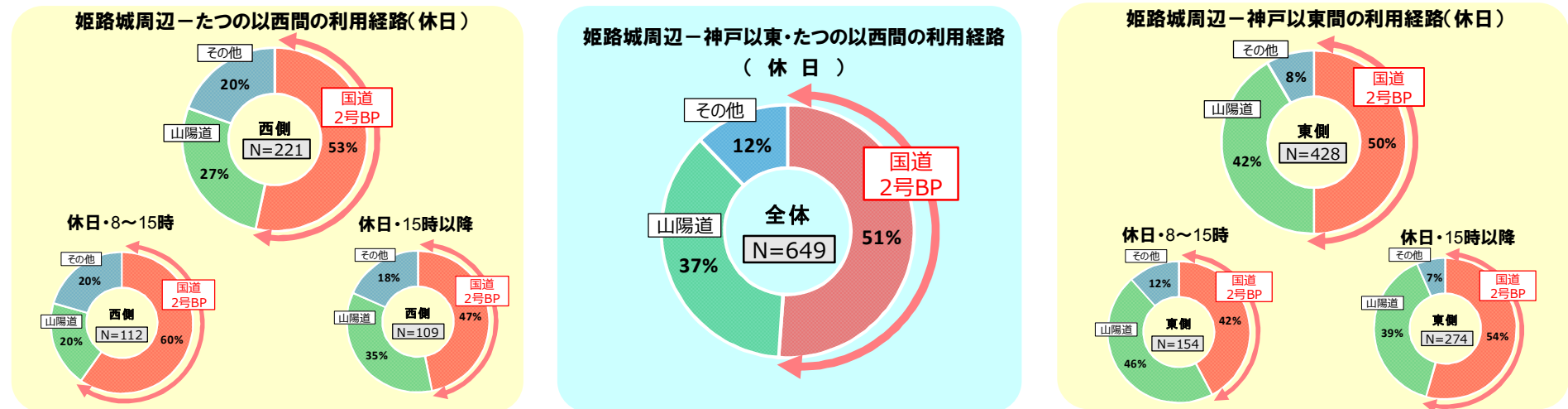
3. 地域や道路交通の現状と課題 (道路交通の特徴)

- 国道2号BPは、長・短距離交通が混在し、神戸・大阪、岡山方面などの播磨地域外への交通が多い
- 播磨地域外への交通は臨海部に長距離交通エリアが広がり、臨海部からの交通は南北道路、国道2号BPを經由
- 国道2号BPへのアクセス道路である南北道路、国道2号BPの渋滞により、臨海部から発生する長距離交通の速達性・定時性が確保できていない
- 慢性的な渋滞は、材料入荷遅れ等の生産活動への影響、物流コスト増加による競争力低下等、民間投資へ大きく影響



3. 地域や道路交通の現状と課題 (観光移動の特徴)

- 播磨地域を代表する観光地の一つである世界文化遺産姫路城周辺エリアへの自動車利用の経路を調査
- 姫路城周辺エリアとたつの以西間、姫路城周辺エリアと神戸以東間の交通のうち、国道2号BP利用交通はともに約5割であり、**国道2号BPを利用する播磨地域外の東西交通は全体の約5割を占める**
- 観光分野においても国道2号BPは重要な役割を担っている



3. 地域や道路交通の現状と課題（観光周遊）

- 兵庫県では、外国人旅行者が多く訪れる県内観光地「神戸」、「姫路」、「城崎」をつなぐ県内周遊ルート「ひょうごゴールデンルート」として設定・提案し、兵庫のインバウンド観光ブランド力の向上を図り、誘客を促進することを目指している
- 神戸は、異人館や旧居留地の町並み、中華街や神戸ビーフに代表される食。姫路は世界文化遺産の姫路城。城崎は外国人宿泊者数が急増している城崎温泉。それぞれ特色の異なる観光地をつなぐことで観光の活性化を推進している
- しかし、国道2号BPの渋滞により、定時性・速達性が確保されていないため、播磨地域の観光地の魅力低下や広域観光周遊が進まないなど、観光業に影響を及ぼす

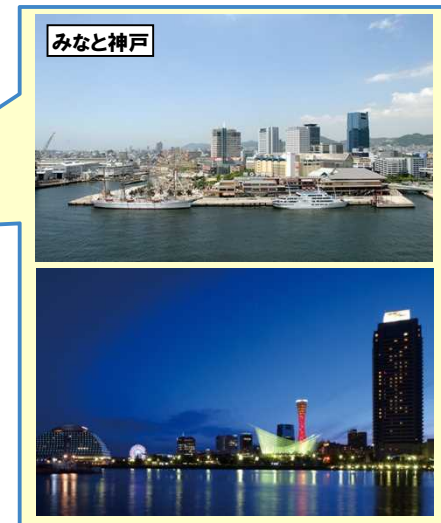
← 当面、都市計画・アクセスを進める区間



※掲載写真は、下記より転載
姫路市HP 姫路フォトバンク



※掲載写真は、下記より転載
豊岡市HP 豊岡市フォトライブラリー

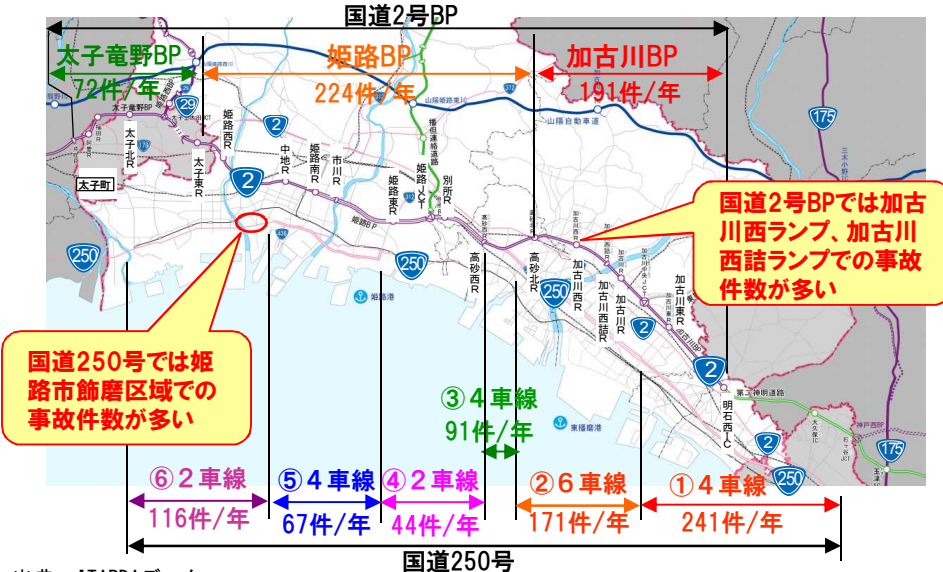


※掲載写真は、下記より転載
神戸市HP 神戸フォトコレクション

3. 地域や道路交通の現状と課題 (事故)

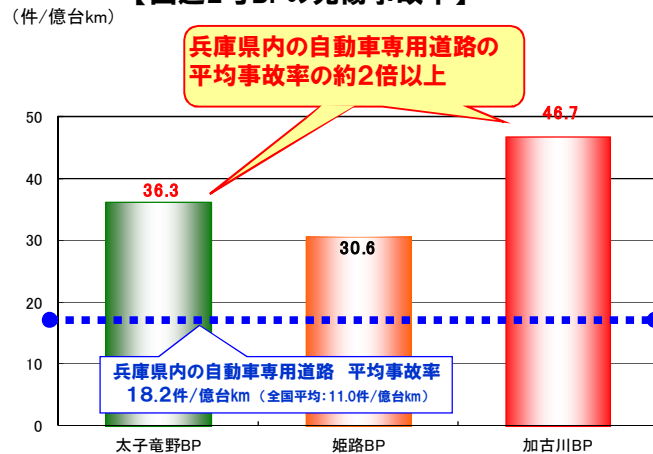
- 国道2号BP、国道250号ともに、**兵庫県内平均の約2倍以上の死傷事故率**
- 国道2号BPでは**加古川西ランプおよび加古川西詰ランプ**、国道250号では**姫路市飾磨区域**で**事故件数が多い**
- 国道2号BPの事故要因は、速度低下が原因の一つと考えられる**追突事故**が8割以上

【国道2号BP、国道250号の年平均死傷事故件数】

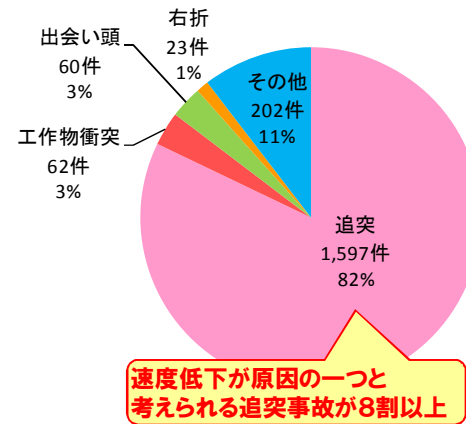


出典：ITARDAデータ
※事故件数は、H23年～H26年の年平均

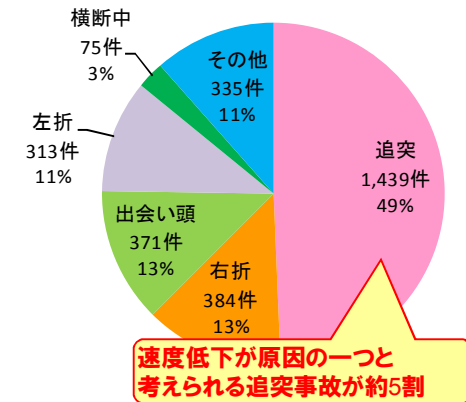
【国道2号BPの死傷事故率】



【国道2号BPの事故類型】

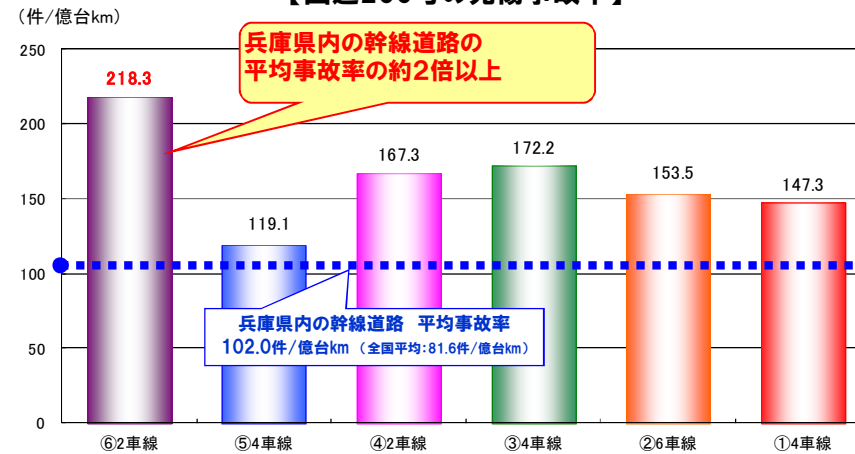


【国道250号の事故類型】



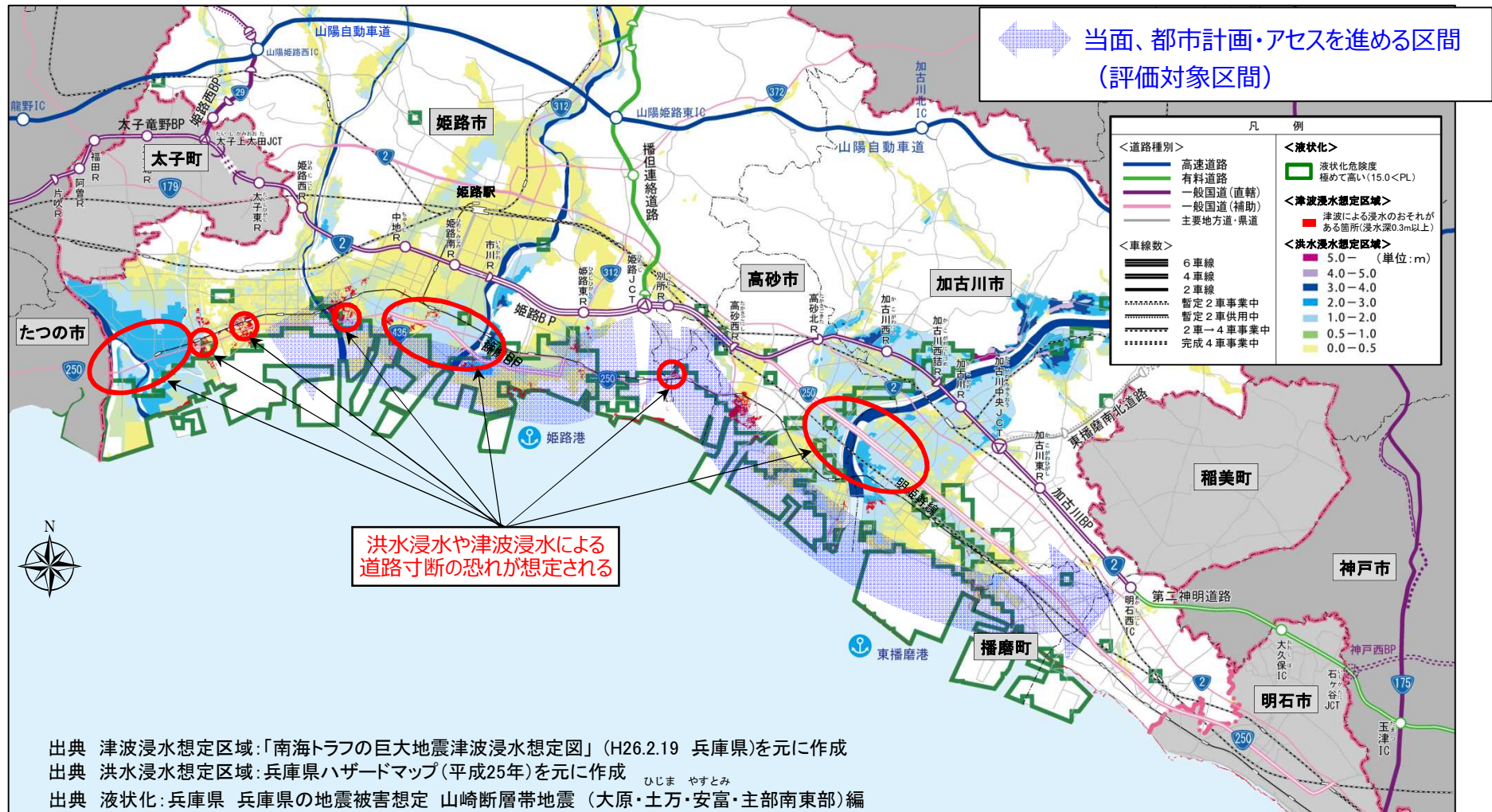
出典：ITARDAデータ (H23～H26の4年間合計)

【国道250号の死傷事故率】



3. 地域や道路交通の現状と課題（浸水・液状化）

- 洪水及び南海トラフ巨大地震に伴う津波により、**一部の主要幹線道路で浸水による通行止めが懸念**
- 播磨地域の臨海部には、**液状化危険度が極めて高い範囲が広く分布**



出典 津波浸水想定区域:「南海トラフの巨大地震津波浸水想定図」(H26.2.19 兵庫県)を元に作成
 出典 洪水浸水想定区域:兵庫県ハザードマップ(平成25年)を元に作成 ひじま やすとみ
 出典 液状化:兵庫県 兵庫県の地震被害想定 山崎断層帯地震 (大原・土万・安富・主部南東部)編

PL値(液状化指数): 地盤の液状化の激しさの程度を表す指標。液状化の発生する深さや層厚、非液状化層の厚さが勘案されており、液状化危険度マップの作成にあたって使われることが多い。「液状化対策技術検討会議」検討成果(H23.8 国土交通省 液状化対策技術検討会議)

4. 政策目標の設定

4. 政策目標の設定（地域・道路交通の課題整理）

地域・道路の課題

○東西方向の主要幹線道路である国道2号BPの交通容量が不足

○H12の太子竜野BP、姫路BP無料化により山陽道から交通転換し、渋滞が悪化

○産業交通の混入により、臨海部から国道2号BPへアクセスするための南北道路が渋滞

○臨海部の製造業の投資促進に向け、交通機能強化が必要

○臨海部を発着する交通は長距離交通が多く、主に国道2号BPにより阪神方面へ移動

○世界遺産姫路城を有し、観光消費額ベースで県全体の約2割

○姫路城への連絡経路の約5割が国道2号BPを經由

○兵庫県が神戸・姫路・城崎の「ひょうごゴールデンルート」を設定し、インバウンド観光誘客を促進

○国道2号BP、国道250号明姫幹線の死傷事故率が県内平均の2倍以上

○津波浸水や洪水浸水が懸念

○臨海部の埋立地を中心に液状化が懸念

早期整備

必要機能の確保

製造業の活性化、投資促進

観光周遊の促進

交通事故の削減

災害に強いまちづくり

4. 政策目標の設定（地域の将来像）

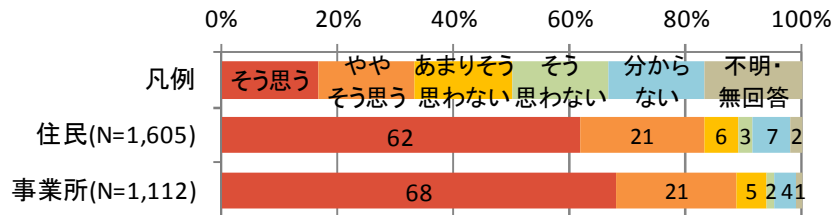
項目	地域の将来像
<p>製造業の活性化、投資促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○未来を拓く産業の力を高める（21世紀兵庫長期ビジョン） ○風格と活力ある歴史文化・産業都市（国内外を視野に入れた企業立地の促進）（ふるさと・ひめじプラン2020） ○活気があふれ躍動する産業交流都市－工業の活性化（第4次高砂市総合計画後期基本計画） ○快適に暮らせるまちをめざして－幹線道路・港湾機能を充実する（加古川市総合計画） ○地域の交流・持続を支える基盤を整える（21世紀兵庫長期ビジョン）
<p>観光周遊の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ（21世紀兵庫長期ビジョン） ○都市活動を支える基盤整備の推進－交流連携を支える交通網の構築（ふるさと・ひめじプラン2020） ○ふれあいと賑わいのある協働・交流都市－広域行政の推進と交流の拡大（ふるさと・ひめじプラン2020）
<p>交通事故の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○安全で快適な道路・交通施設の整備（第4次高砂市総合計画後期基本計画） ○快適で人が集うまちをつくる－道路・港湾整備の推進（第4次播磨町総合計画）
<p>防災に強いまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○災害に強い安全安心な基盤を整える（21世紀兵庫長期ビジョン） ○自然豊かで快適な環境・利便都市－減災対策の推進（ふるさと・ひめじプラン2020）

4. 政策目標の設定（意見聴取の結果）

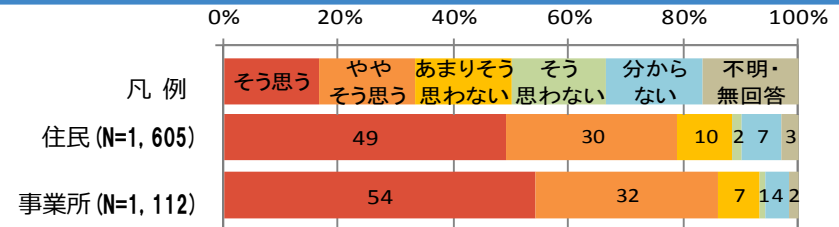
■回答の傾向【必要機能の確保、製造業の活性化、投資促進】

- 国道2号BPの交通集中が酷く、アクセス道路が、ほぼ毎日渋滞で使いものにならないとの意見があった。
- 姫路市北西部より臨海部に行く時、国道2号BPの渋滞は酷く、播磨臨海地域道路の早期整備が必要との意見があった。
- 国道2号BPの渋滞、BPランプに繋がる南北道路の渋滞の緩和により、輸送コストが削減され、企業の設備投資の拡大に期待との意見があった。
- 渋滞が原因で播磨地域以外の地域に投資しているとの意見があった。

国道2号BPの渋滞を優先的に解決すべきだと思いますか



産業活動、日常生活へ与える影響について優先的に解決すべきだと思いますか



■ アンケート ■ ヒアリング

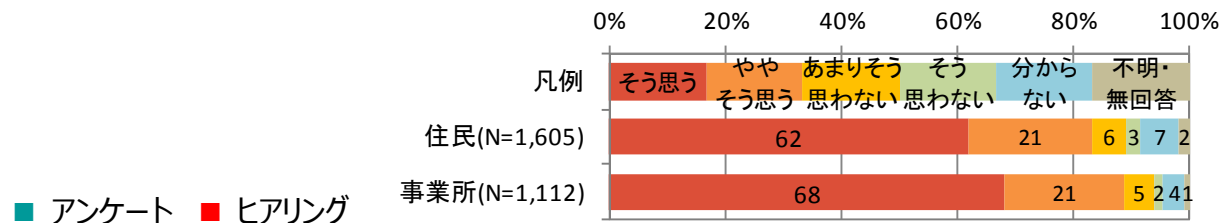
- 姫路市北西部より臨海部に行く時、国道2号や姫路BPの渋滞は酷い。通勤や企業のためには、姫路北BPや播磨臨海地域道路の早期整備が必要。（地域住民）
- 国道2号BPへの交通集中が酷い。又、BPランプウェイから南北へ走る道が、ほぼ毎日渋滞で使いものにならない状況。（地域住民）
- 国道2号BP、山陽道路をアクセスする南北道路が弱く思う。経済活動の流通を考えると臨海部と東西動線とのアクセスの整備が望まれる。（地域住民）
- 姫路BP姫路東ランプ、南北道路国分寺白浜線は国道250号に接続していて臨海部に物流拠点等が集積しているため、渋滞に等に伴う経済損失も計り知れない。（事業所）
- 中国道・山陽道の国幹道と臨海部の企業群をつなぐ道路ネットワークの構築により渋滞解消が図れ、物流効率の向上による産業競争力の強化だけでなく、低未利用地への新規立地や既存工場への設備投資の拡大が期待できる。（関係自治体）
- 現状は渋滞が原因の1つとなって、網干工場よりも広島・大竹工場に設備投資される状況がある。（製造業関連）
- 渋滞が解消されると物流コストが低下し、商品競争力が上がり、生産量が増えれば設備投資も増え、雇用の確保や税収の増加にも繋がる。輸送コストは製造業にとってある程度の比率を占めており、この低下は大きい。（製造業関連）
- 姫路BP本線の慢性的な渋滞に起因して、各ランプ（中地・姫路南・姫路東等）に接続する南北道路も日常的に渋滞している。渋滞を避け生活道路（BP側道や南北アクセス道路に並行する路線）にまで大型車が進入している。（自治体関連）

4. 政策目標の設定（意見聴取の結果）

■回答の傾向【観光周遊の促進】

- 国道2号BPの渋滞により、移動の速達性・定時性が確保されておらず、ツアーが企画できないなどの意見があった。
- 神戸～姫路間の観光周遊にあたり、定時性が確保されていないとの意見があった。
- 国道2号BPは観光交通と産業交通が混在し渋滞しており、観光へ悪影響を及ぼしているとの意見があった。
- 東南アジア、タイからの観光客が増加している。外国人の姫路への観光の交通手段は車が多いとの意見があった。

国道2号BPの渋滞を優先的に解決すべきだと思いますか



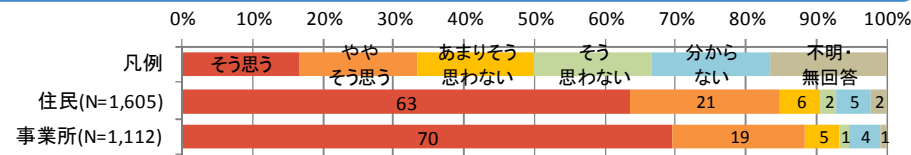
- **観光目的の車も増えていて、国道2号BPの渋滞解決は急務。**特に姫路でバイパスを下りられない。（地域住民）
- **せっかく姫路城という世界遺産があり観光できるのに道がこんなだと行きたくなくなります。**（地域住民）
- **世界遺産でもある姫路城に観光客を呼ぶためにも、万年渋滞が発生している国道2号BPは、早急に解決すべきと考えます。**（事業所）
- **姫路城リニューアル後、観光バスが増えている。国道2号BPや一般道が混んでいるから観光の時間が短くなる等、観光面での悪影響があると思う。**（地域住民）
- **東南アジア、タイからの観光客が増加している。**外国人の姫路への観光の交通手段は車が多い。
- **姫路より東部は明姫幹線があるため、産業と観光が住み分けできている。しかし姫路市は観光と産業の車が、国道250号が弱いため国道2号BPに集中している。**（観光関連）
- **神戸～明石～姫路のツアーでは、国道2号BPしかなく、明石～姫路間で特に時間が読めない。**（観光関連）
- **姫路城と書写のツアーは、渋滞で時間が読めないために現在はツアーがない。**（観光関連）
- **観光客の多くが自動車で訪れていると思う。車であれば国道2号BPを主に使っているはず。徒歩での周遊が難しく自動車がメインの交通手段であるため、国道2号BPの渋滞は観光面での影響が大きい。**（観光関連）
- **渋滞で観光の行程がおしてくると食事や物販がキャンセルとなり、売上が下がってしまう。また、移動に時間がかかり、肝心の観光の時間が減る。**（観光関連）
- **国道2号BPの渋滞が解消し、観光ツアーで国道2号BPを利用できるようになると明石への訪問が増え、観光客が増える可能性がある。**（観光関連）

4. 政策目標の設定（意見聴取の結果）

■ 回答の傾向【交通事故の削減】

- 国道2号BPは慢性的な渋滞による速度低下により、追突事故が発生しているという意見があった。
- 渋滞を避けBP側道や南北アクセス道路に並行する路線といった生活道路にまで大型車が進入しているとの意見があった。

国道2号BPの事故について優先的に解決すべきだと思いますか



■ アンケート ■ ヒアリング

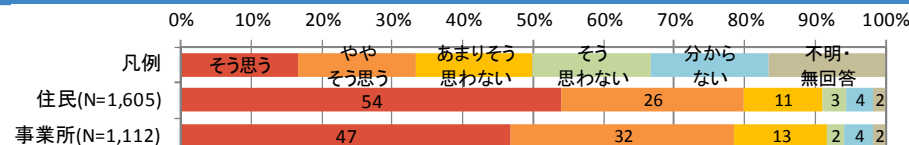
- 加古川西R、加古川R、加古川東Rの出口で、本線と側道の交通が輻輳するため危険である。このことが、本線の急な速度低下を招き、事故の一因にもなっていると考えられる。（地域住民）
- 国道2号BP降り口付近の渋滞によって、非常に危険な状態が続いている。（地域住民）
- 加古川西詰ランプ下りで国道2号BP上に渋滞しており、走行に非常に危険な状態である。早期に解決が必要と思う。（地域住民）
- 国道2号や国道250号の渋滞を避けるため、狭い生活道路へ車が入り、住民との事故が発生していると思う。国道2号や国道250号の渋滞を解消すれば、そういった事故がなくなると思う。（地域住民）
- 事故と渋滞は表裏一体。渋滞を解消することで事故も削減できると思う。老朽化緩和、環境改善や経済活動への影響など全てに繋がる。（農業関連）
- アップダウンがきつく交通量が多いため加古川BP・姫路BPは事故が多すぎる。事故の内訳は半数以上が追突で、本線上やランプ部での停止車両に突っ込むような事故形態である。（救急医療関連）
- 国道2号BP、国道250号は、交通量が他の道路より多いため事故が圧倒的に多い。事故は渋滞がなくなれば、大幅に減少する。（自治体関連）
- 加古川BPでは天候に関係なく事故が多い。事故の半数以上は追突事故である。（救急医療関連）
- 国道2号BPは交通量がパンクしており、事故も多い。特に死亡事故も多くなっている。アップダウンも多く危険であるので、せめて大型車だけでも別のルートに回せないかと思う。（救急医療関連）
- 国道2号BPでの事故が多く、中地R～姫路西R間のトンネル、市川付近で特に多く、事故による渋滞もひどい。（観光関連）
- 交通量が多いと事故が起きやすい。加古川BPで同日同時刻に事故を連続2件みたことがある。（観光関連）
- 姫路バイパス本線の慢性的な渋滞に起因して、各ランプ（中地・姫路南・姫路東等）に接続する南北道路も日常的に渋滞している。渋滞を避け生活道路（BP側道や南北アクセス道路に並行する路線）にまで大型車が進入している。（自治体関連）
- 臨海部等を発着する大型車が生活道路まで流入している箇所があり、非常に危険。特に渋滞のひどい朝夕の時間帯が目立つ。この時間帯は子供の登下校の時間と重なるため、大きな問題である。（地域住民代表）

4. 政策目標の設定（意見聴取の結果）

■回答の傾向【災害に強いまちづくり】

- 津波及び洪水により一部の主要幹線道路で浸水による通行止めが発生し、日常生活や経済がストップするとの意見があった。
- 臨海部には軟弱地盤層が広がっているため、液状化への対応が必要との意見があった。

南海トラフ巨大地震による津波浸水や河川の氾濫による
道路寸断の危険性について優先的に解決すべきだと思いますか



■ アンケート ■ ヒアリング

- **南海トラフ巨大地震による津波を想定すると、現在の橋梁はもたないだろう。と同時に浸水により、通行が不可能ではないか**と思っている。**海岸部での対応でいうと高架しか考えられない。**市街地への浸入を防ぐためにも。（地域住民）
- 国道250号は、**土地が低く、浸水の恐れが十分ある。**（地域住民）
- **大災害や洪水などで大多数の人々の日常生活、経済などがストップ**してしまいます。環境も大事ですが、こういった防げない自然災害が起こった時に、できるだけ日常生活に支障をきたさない対策をお願いします。（事業所）
- 現在の国道2号BP、国道2号、国道250号等のみでは、**災害時の人員並びに物資輸送に関してルートが少ない。**国道2号から山陽道の間を東西、南北ルートの整備、加古川にかかる橋梁の整備が必要。（事業所）
- **東名道路では、新東名があったため物資を送る事ができました。**このことから、道路寸断の危険性を排除すべきだと思います。（地域住民）
- 播磨地区は、加古川、揖保川と大きな川があり、**浸水時の通行規制を考えると、臨海地域道路の整備は必要**と思います。（事業所）
- **災害時（津波）の避難場所に高速（BP）利用する方法もあると思う。**（地域住民）
- **津波や氾濫による東西交通の寸断は絶対に避けなければならないのは当然。**山崎断層がらみの災害も予測されているのだから、南北の基幹道路も整備してもらいたい。（地域住民）
- **災害発生時、公共交通期間は概ね麻痺しており、道路の果たす役割は大きい**です。その時、瓦礫で塞がれていたり、浸水で寸断されていると致命的です。道路幅の拡張や排水設備の充実化も進めて欲しいです。（地域住民）
- 国道250号以南は**軟弱地盤（海砂をサンドポンプで高上げ）**のため地震による液状化現象が考えられるので、**強固な対策が考慮されるべき**である。（事業所）
- **国道2号や国道250号の通行止を**考え、輸送物資の幹線道路を確保すべき。（事業所）
- 佐用水害（2009年8月）の時に中国道が通行止めとなり逃げ遅れた方がいたはず。大きい幹線道路が通行止めになると一般道へ逃げてきた車で交通量が増え、その結果事故の危険性も高くなる。**災害時でも通行できる道路が必要。**（救急医療関連）

4. 政策目標の設定

■政策目標・留意事項の設定

■ 地域・道路交通の現状と課題、地域の将来像、アンケート・ヒアリング結果を踏まえ、政策目標を4つ、留意事項を2つ設定

地域の現状と課題

道路交通の現状と課題

地域の将来像

アンケート・ヒアリング

政策目標

製造業の活性化、投資促進	臨海部から阪神方面への連絡時間の短縮
	南北道路における生活交通との混在による渋滞の回避
観光周遊の促進	産業交通の排除による国道2号BPの観光交通の速達性、定時性の向上
交通事故の削減	国道2号BPにおける渋滞解消による追突事故の削減
	南北道路からの産業交通の排除による事故の削減
災害に強いまちづくり	災害時に機能するネットワークの確保

留意事項

早期整備	課題の大きさを踏まえた対策
	民間投資のスピード感への対応
必要機能の確保	新しい道路に国道2号BPの渋滞が転換するだけにならない仕組みづくり

■今後の検討内容

■ 地域の課題解決に向けた幹線道路の役割を把握し、政策目標の妥当性を確認するため意見聴取を実施

5. 意見聴取方法

実施項目	意見聴取の目的	対象
行政への ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の課題や解決に向けた方向性についての、行政計画との整合性の確認 ■ 設定した課題、政策目標、留意事項の妥当性の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 兵庫県 ■ 沿線自治体 (明石市、加古川市、高砂市、姫路市、播磨町)
各業界団体 へのヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設定した課題、政策目標、留意事項の妥当性の確認 ■ 具体の民間投資、活性化に向けた計画の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商工会議所等の経済団体 ■ (上記紹介のもと) 製造業、観光業、物流業等 ■ 農協等 <p style="text-align: right;">計 30 団体程度</p>
住民代表への ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設定した課題、政策目標、留意事項の妥当性の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域住民代表、自治会長 (自治体と相談)
オープンハウス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設定した課題、政策目標、留意事項の妥当性の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 10 地区程度 (自治体と相談)